



## 講座・講演会報告

平成29年度 男女共同参画啓発事業 講演会

～マタハラ問題からみる～

# ハラスメントをなくして、誰もが働きやすい職場環境へ

平成29年9月10日(日) 13:00～15:00 ムーブ 5階 小セミナールーム

平成29年3月に発行した啓発冊子「知らないって怖い!職場のハラスメント」に関連して、マタハラ防止措置の義務化を牽引してこられた小酒部さやかさんにお話をいただきました。



【講師】株式会社natural rights 代表取締役

おまかへ  
小酒部 さやか さん

### 《マタハラとは》

マタニティハラスメントの略で、働く女性が妊娠・出産・育児をきっかけに精神的・肉体的な嫌がらせを受けたり、妊娠・出産・育児などを理由とした解雇や雇止め、自主退職の強要で、不利益を被ったりするなどの不当な扱いを意味する言葉です。

つまり、嫌がらせの部分と不法行為の部分の二つの概念を含む言葉であり、正社員で5人に1人、派遣社員の2人に1人が被害にあっています。

妊娠はコントロールできるものと誤解している人が多いことに加え、妊娠や出産で休んだ分の業務をカバーさせられるなどの不満が、妊婦や育児中の社員に向けられています。この怒りや不満は本来上司や経営層に向かうべきものです。

働く女性の半数以上が妊娠に不安を抱えており、早産においては働き方やストレスと大きく関係しているという発表もありますので、命へのハラスメントになりかねない深刻な問題がマタハラだといえると思います。

セクハラやパワハラと違い、異性・同性や上司・同僚を問わず、誰もが加害者になってしまうのがマタハラの特徴です。

### 《女性活躍の阻害要因》

今後の日本経済においては、女性の労働力がますます重要になると言われているにも関わらず、それを阻害するマタハラ。日本は未だに、第一子の妊娠を機に約5割の女性が仕事を辞めています。育児休業を利用した後に職場に復帰する割合は、正社員で4割、派遣・パートなどの非正規はわずか4%という悲惨な状況です。

マタハラは日本の少子化、労働力不足に直結する経済問題だと言いつつ続てきました。マタハラドミノ倒しと言っておりますが、マタハラで晩婚化、晩産化になれば少子化になり、マタハラで会社を辞めさせられて、保育園に入ることができないので、働くことができず、それが労働力不足につながります。

育児を取得しないと、女性は「育児給付金」と「認可保育園」の2つのチケットのはしごを外されています。つまり、日本の場合、待機児童も問題ですが、働いていますがというチケットがないと、保育園に入れることができない。ここが女性にとってつらいところです。

### 《マタハラは働き方へのハラスメント》

「逆マタハラ」も問題になっています。周りの社員への業務のしよせや妊婦の過剰な権利意識が劣悪な職場環境をつくっており、現に7割の企業が代替要員がいない現状です。

ここで、必要になってくるのがダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包摂性)です。多くの企業が、多様な人材を取り入れ、個々の能力を生かす動きをしています。

少し前までは、男性社員がベースの職場に、女性が男性の着ぐるみをきて男性並みに働くことでしか認められませんでした。ところが、ようやく産休・育休制度ができ、女性が女性として働くことができるようになりました。

しかし、ダイバーシティ人材と、長時間労働できるスタンダード人材は同じ空間にいるのに分断している状態です。そうではなく、お互いの価値を認めて、それぞれ多様な能力を発揮できる状態が必要です。例えば、ダイバーシティ人材が長期休暇に入る間、スタンダード人材にも評価・対価の見直しをします。このインクルージョンの概念なくしては、ダイバーシティの意味はありません。この状態になって、新しい価値が生まれる、新しい商品開発につながる、新しい制度開発になります。マタハラ防止からダイバーシティ&インクルージョンにつなげてください。

### 《マタハラ解決に向けて》

まず、経営者は法の知識をもち、制度を考え、社員へ説明することが重要なこととなります。社員がシフトに合わせるのではなく社員に合わせたシフトの検討、いつ誰が休んでも業務が滞らない方法の見直し、イクボス(部下そして自らも仕事と生活の両立に配慮した働き方をするリーダー)の育成など、マタハラはマネージメント問題の要素が多いです。

今までの上司から部下への対応は、指示・命令という形だったけれども、これからは個別にコミュニケーションを取ることが大切です。特に、女性の産休・育休は個別対応していただきたい。妊娠の症状は人それぞれなので、仕事の奪いすぎも、与えすぎも自己決定権の侵害になります。

マタハラを防止すると、パタハラ(男性が育児取得を希望した際に会社から妨害されること)とケアハラ(介護取得を希望した際に会社から妨害されること)という次なるハラスメントの防止になります。これからは上司が介護休をとる時代になってきます。出産・育児は予定がちですが、介護は予定がちません。女性に産休・育休をとらせないで、上司の介護休につながるわけはありません。

私の願いは、ハラスメント問題を解決すると、こんなに良いことがあると、ポジティブアクションにつなげてほしいということです。産休・育休を取る人だけに配慮するのではなく、あらゆる労働者の労働環境の見直しにつなげてほしいと思います。

## おとこの魅力アップシリーズ

### 味噌づくり男子初級編

平成29年9月30日(土)

【講師】自然食工房めぐみ 堀川一恵さん

毎回好評で、いつも定員をはるかに上回るお申込みをいただいている男性向け講座「おとこの魅力アップシリーズ」。女性からも受講したいというお問い合わせを多くいただくほど。29年度第3回目は「味噌づくり男子」、テーマは「自分の味噌を作る」。

食生活に欠かせない味噌。工程は意外に簡単でしたが、これから半年間ほどかけて育てていくことが重要。これから味噌を育てる楽しみが出来た、待つのが楽しみ!という声も多く、講師の提案により、毎月味噌を作っていきたいと決意した受講者までも!味噌が食べ頃になる春先がとても楽しみです。



### ロールケーキ男子初級編

平成29年12月3日(日)

【講師】ブレッドクッキングおた 太田 恵美子 さん

29年度第4回目にして、シリーズ初のお菓子づくり講座、「ロールケーキ男子初級編」。テーマは「クリスマスに向けてケーキを作る」。こちらもかなりの人気講座となりました。

初めてお菓子作りをするという受講者がほとんどでしたが、講師の丁寧な指導で楽しくおいしくできたという声が続出。自分で作ったロールケーキは箱に入れて持ち帰り、素敵なお土産に。妻への誕生日プレゼントにしたい、娘が大きくなったら一緒に作りたい、という温かい声も聞かれました。

これからも、たくさんの輝く男性が誕生する講座を開催していきたいと思っています。今後も乞うご期待!



## 「介護男子」

～いざとなったらどうする?～

平成29年11月18日(土)、11月26日(日)、12月2日(土) 全3回

今年度から大幅にリニューアルした「介護男子」。超高齢社会を迎え、男性が親や妻などの介護を担うことも増えています。今回は「いざとなったらどうする?」をキーワードに、突然介護に直面した時のために男性だけで事前に基礎知識を学ぶ、わかりやすい講座として生まれ変わり、これまでよりはるかに多くの方にご参加いただきました。受講者からは、介護保険サービスや高齢者疑似体験など、初めて知ることや興味深いものが多く、有意義な時間となったという声を多くいただきました。

今後とも過去の受講者を含めた仲間と一緒に、お互いの状況や経験を語り合って親交を深めていただき、ご自身のストレスケアもしていただきたいと思います。



## ムーブ学生生活動プロジェクト



## ESDプロモート実習

今年度より「ESDプロモート実習」として、北九州州立大学地域創生学群 地域マネジメントコースの12名の学生が参加しています。

世界中の人々が幸せに暮らしていくために、子どもや女性を対象とした分野をはじめとしたさまざまな問題の解決と、後世まで継続していくための教育としてユネスコが提唱している「持続可能な開発のための教育(ESD)」を推進(プロモート)することを目的に活動しています。

ムーブフェスタ  
市民企画事業  
わたし  
マニュアルを  
作ろう!

平成29年7月9日(日)  
13:00~15:00  
ムーブ5階 小セミナールーム



男女の性別にとらわれることなく一人ひとりが個人として尊重され、誰もが自分自身の持てる能力を発揮し多様な生き方を選択できる。この男女共同参画の重要性を伝えるために、今回のセミナーを企画しました。

主に大学生を対象として、なりたい姿や自分の強みを発見し将来に生かしてもらうことを目的に、「自分らしさとは何か?」を考えてもらう自己分析ワークショップを開催しました。新しい環境に慣れてきたりと思うように過ごせていないと考える新入生や就活を控えている学生も多く、グループワークなどを通じてお互いの個性の尊重と自分を見つめなおすきっかけを提供できたと思います。

## (公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

### ●第29回KFAW研究報告会

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)では、アジア太平洋地域を中心とする世界各国のジェンダーや男女共同参画に関するさまざまな課題について調査・研究を行っています。

今回は、日本での外国人介護士の受け入れと育成をめぐる研究、および性的マイノリティの人権を台湾、シンガポール、日本を比較しての研究と、いずれも日本を取り巻く今日の重要な課題を取り上げます。

皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日時 3月25日(日)14:00~16:00
- 会場 ムーブ5階 小セミナールーム
- 定員 50名(先着順) ■参加費 無料
- 託児 あり。1人500円(3月19日までに要予約)

【お申込み・お問合わせ】(公財)アジア女性交流・研究フォーラム TEL. 093-583-3434 E-mail. research@kfa.or.jp

#### 報告1

「日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題:ジェンダーの視点からの分析」  
(報告者)

東京福祉大学国際交流センター 特任講師 かへりえ 鹿毛 理恵  
まえやま ゆかり 佐賀女子短期大学准教授 やまもと ゆかり 前山 由香里

#### 報告2

「アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会:台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に」  
(報告者)

たむら けいこ 田村 慶子  
ひきた まよこ 足田 京子  
北九州州立大学法学部教授  
鹿児島県立短期大学准教授

## 東部勤労婦人センター レディースもじ

### 開館31周年記念講演会

## マスオ流男女共同参画の話

~共に幸せで健康な人生を生きるために~

- 日時 4月21日(土)13:30~15:00(12:30開場)
- 定員 300名(先着) ■参加費 無料
- 託児 あり(1歳以上就学前まで) ※有料・要相談
- 申込方法 3月6日(火)9:00から  
電話または来館にて受付。

#### 増岡 弘 さん プロフィール

1936年埼玉県生まれ。声優・俳優。声優としては「サエさん」のマスオ役、「アンパンマン」のジャムおじさん役など。声のみ演じるセルフとナレーション、音響効果による演劇を行う劇団「東京ルネッサンス」の代表を務め、その「群読」という演出法は好評を得ている。全国で講演会を多数開催。



【講師】声優・俳優  
ますおか ひろし  
増岡 弘 さん

【お申込み・お問合わせ】  
〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号  
TEL.093-371-4649

## 西部勤労婦人センター レディースやはた

### 開館41周年記念講演会

## ダニエルのおすすめ、自分らしい生き方

アメリカ出身で高校時代よりたびたび日本に留学し、現在は日本でタレント活動をしながら被災地への支援も積極的に行っている講師に、男女共同参画社会の視点からお互いを知り認める大切さをお話していただきます。

- 日時 5月12日(土)13:30~15:00(13:00開場)
- 定員 200名(先着順) ■参加費 無料
- 託児 あり(1歳以上就学前まで) ※有料・要相談
- 申込方法 4月4日(水)9:00から  
電話または来館にて受付。

#### ダニエル・カール さん プロフィール

愉快な山形弁でテレビ・映画出演と大活躍する異色の外国人タレント。旺盛な好奇心とバイタリティあふれる行動力、ユーモア豊かなサービス精神、3年間の山形での生活で鍛えた山形弁を武器に、司会・コメンテーターなど幅広く活躍。



【講師】  
タレント・山形弁研究家  
ダニエル・カール さん

【お申込み・お問合わせ】  
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番6号  
TEL.093-661-1122

## 報告

## 北九州市総務局女性の輝く社会推進室からのお知らせ

# 第11回「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰」受賞者決定!!

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働で取り組むべき重要な課題です。本市では、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く市内企業や市民の皆さまに紹介しています。

この度、第11回の表彰企業等を下記のとおり決定し、去る11月15日、同時開催いたしました「指定都市市長会シンポジウム in 北九州」にて表彰式を行いました。

各受賞者の詳細な取組内容につきましては、HP「はじめよう!ワーク・ライフ・バランス」をご覧ください。  
(<http://wlb-kitakyushu.jp/commendation/>)



継続する意志と  
「血の通った現場目線の取組み」で  
着実に成果を積み上げている



ワークシェアリングによる  
業務の見える化など、きめ細やかな  
効率化で一人集中体制を打開



女性活躍が「人材確保・意識改革・働きやすい職場づくり」のキーワード。だれもが働きやすい会社づくりを実現中



自身の経験に裏打ちされた  
「ワーク・ライフ・フィット」を  
モットーに多方面で情報発信!



【お問合わせ】北九州市総務局 女性活躍推進課 TEL. 093-582-2209

## 北九州市表彰に男女共同参画部門が新設されました!

地域における男女共同参画や女性活躍の更なる推進を図るため、地域において多年にわたり男女共同参画に関する啓発活動等に取り組んでいただいた方や、これまで女性の進出が少なかった分野等に果敢に挑戦し、先駆的な活動を行い功績を挙げている方を対象とした、北九州市表彰「男女共同参画功劳」部門を新設しました。

平成30年2月10日に開催された北九州市政55周年記念式典において北九州市表彰の授与が行われました。

【お問合わせ】北九州市総務局 男女共同参画推進課 TEL. 093-582-2405

### 北九州市表彰 男女共同参画功劳 受賞者 (50首順、敬称略)

- 内村 美由紀 北九州市八幡東消防団副団長
- 甲斐 幸子 中井校区まちづくり協議会会長
- 加藤 美佐子 元北九州市女性団体連絡会議長
- 土井 智子 元北九州市女性団体連絡会議長
- 寺坂 カタエ(故人) 元アジア女性交流・研究フォーラム理事
- 山口 律子 元北九州市女性団体連絡会議長



## 第16回福岡県男女共同参画表彰に北九州市から選ばれました!

### 社会における女性の活躍推進部門

## ★計測検査株式会社★

昭和49年設立 構造物の検査等(企業)

### 困難な状況にある女性の自立支援部門

## ★NPO法人FOSC★

平成7年設立 困難を抱える子どもと女性の支援(団体)

## 平成30年度 おすすめ講座紹介

働くなでしこに贈る!  
お役立ちワンポイントセミナー

毎回違うテーマで働く女性に役立つ講座を行います。お気軽にご参加ください。

## 心も輝く! キャリアアップ&amp;ビューティー講座

内面も外見も輝くためのカリキュラム。新年度を迎えるこの時期に、きっと役立ちます!

- 日時 4月7日(土)・14日(土)・28日(土)(全3回) 13:30~16:00
- 定員 20名(先着) ■受講料 1,500円
- 託児 6ヵ月以上就学前まで(要予約 1人1回500円)
- 対象 働いている女性、またはこれから働きたいと思っている女性

3月3日(土)より  
受付開始

## ストレスケアの処方箋

年度が変わる変化の時期、新しい環境にちょっと不安や疲れを感じてしまうことも。これからも元気に働き続けるために、自分に合ったストレスケア法を身につけましょう。

- 日時 5月11日(金)・18日(金)・25日(金)(全3回) 19:00~20:30
- 定員 20名(先着) ■受講料 1,000円 ■託児 なし
- 対象 働いている女性、またはこれから働きたいと思っている女性

4月3日(火)より  
受付開始

おとこの魅カアップシリーズ  
フラワーアレンジ男子

毎回、大好評の男性向け講座「おとこの魅カアップシリーズ」。

平成30年度 第1回目は、初めてのフラワーアレンジメント講座。基本やコツを学びます。

- 日時 4月14日(土) 午前コース10:00~12:00 午後コース13:30~15:30
- 定員 各コース16名程度(応募者多数の場合抽選)
- 対象 家事初心者の男性 ■講師 財団法人日本フラワーアレンジメント協会 いわはし かずえ 岩橋 万恵 さん
- 託児 6ヵ月以上就学前まで(要予約 1人500円) ■受講料 1,500円(花・材料費込)
- 申込方法 TEL・ハガキ・FAX・Webサイトからお申込みください。 ■申込締切 3月17日(土) 必着

ムーブ叢書

《テーマ》若年層女性の健康

(無料配布)

『見つめよう、ココロとカラダ(仮)』 3月末発行予定

若年層の女性に向けた健康や生活に関する啓発冊子です。現在、思いがけない妊娠や心のなやみなど、若年層の女性を取り巻くさまざまな問題があります。そのため、予防教育の充実が重要な課題となっています。

二次性徴期の不安定な時期にいる若年層の女性が「自分の体は自分で守る」と意識をもつことができるように、読みやすいデザインや構成でまとめています。また、若年層の女性が読むことはもちろん保護者から子どもへ伝えやすい内容になっています。ぜひお手にとりご覧ください。



北九州市立  
男女共同参画センター **ムーブ**

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号  
TEL. 093-583-3939 FAX. 093-583-5107

【HP】 <http://www.kitakyu-move.jp/>  
【E-mail】 [move@move-kitakyu.jp](mailto:move@move-kitakyu.jp)



公益財団法人  
**アジア女性交流・研究フォーラム**  
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者

アクセス

●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車

【小倉駅バスセンターから】

27 36 45 110 138

【小倉駅入口から】

76 150 170 175 197

●西鉄高速バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車

【天神バスセンターから】 **いどうづ号**

●JR西小倉駅より徒歩15分

●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

●駐車場のご案内

地下駐車場/100台収容 30分毎100円(車高制限は2.1m)  
(8:15~22:15 ただし入庫は22:00まで)